

JAFお知らせ(2020.5.27) JAF公認競技会 基本的な感染対策のあり方の例に基づく、オーガナイザー・チェックシート

競技会名: 2020年JAF関東ジムカーナ選手権第6戦, 2020JMRC関東オールスターシリーズ第6戦 スピリッツテクニカルジムカーナ

開催日: 2020年7月12日, 開催場所: 筑波サーキット・ジムカーナ場

オーガナイザー: モータースポーツサークルスピリッツ

競技会のオーガナイズにあたり、下記の感染対策を実施します。

参加者におかれても、コロナ感染に対しては、自分の身は自分で守る意識を高くもって、参加・行動してください。

競技会の前後も含めた適切な感染予防対策の実施

項目	対応
1. 過去2週間以内に症状があった方は参加しない	本チェックシートの公開により、参加者に告知する。
2. 過去2週間以内に渡航歴のある方は参加しない	同上。
3. 体調不良の方が参加しないように配慮する	同上。
4. 飛沫感染等を防ぐ	受理書で参加者へマスクの着用を依頼する。
5. 参加者名簿を適正に管理する	参加者名簿(同行者含む)を事務局で作成し管理する。
6. 主に参加者が触れる場所をアルコール等で定期的に拭き取り	トイレの洗面台等をアルコール洗浄クリーナー等で約1時間毎に清掃を行う。

競技会期間中のクラスター感染発生リスクの高い状況の回避

項目	対応
1. 会場・施設等の全般的な感染予防対策	
1-1. 参加時に体温測定・症状の有無を確認	入場時に参加者の体温を非接触体温計で測定する。また、受理書に同封した問診票にてチェックを行う。筑波サーキットからの要求により、入場時に非接触体温計での測定値37.5℃以上の場合、接触型体温計での再測定を行い、それでも、37.5℃以上の発熱であれば、入場を拒否します。その場合、参加費の返還は行いません。
1-2. 施設内の手指の消毒設備の設置他	必要な場所にアルコール手指消毒剤を設置する。受理書で、参加者への持参も依頼する。
1-3. マスクの着用	受理書にて参加者へマスクの着用を依頼する。
1-4. 施設の換気	審査員室、計時室の換気を適宜実施する。
1-5. 入場者の制限(ギャラリーを含む)	受理書にて参加者へ同行者を最大1名とするように依頼する。クラスター発生時のトレーサビリティを確保するため、同行者は名簿に必要な署名を行う。 会場に入場できるのは、参加者と同時に入場する同行者に限り、競技中は入退門を閉鎖し、関係者以外の立ち入りを禁止する。

項目	対応
2. 受付等	
2-1. 対面する場所の遮蔽対策	免許証、ライセンスの確認のため、対面は必要。ビニールカーテン等で遮蔽を行う。オフィシャルは必要に応じてフェイスシールドを装着する。
2-2. 参加者を密集させない環境	窓口を複数設置する。並ぶ間隔はソーシャルディスタンス1.5~2m(以下SDと記す)とするように、場内アナウンスを行う。
2-3. 資料等配布物について	公式プログラム・ゼッケン・コース図等の配布物をテーブルに置き、参加者が引き取る方式とする。
3. ブリーフィング	
3-1. 屋外であっても身体的距離を確保する	審査委員会、競技役員は紹介のみ。または、距離を保持して肉声で。マイクはアナウンサーのみ使用する。参加者はSDを確保すること。
3-2. 競技についての質問	(競技方法を含む)ブリーフィング資料を受理書に同封し、質問を当日に紙ベースで受領し、当日回答する。(ブリーフィングで回答のみ行う。) 当日の質問については、SDを保って、対面での対応とする。
4. パドック	
4-1. 十分な距離	参加者は指定の場所に、車両、タープ等を駐車・設置する。 基本的に1枠飛ばしのパドック配置を想定しているが、参加台数が確定しないと配置が出来ない。オフィシャル車両を場外に駐車するなど、可能な限りのパドックを参加者に割り振り、密を回避する。*1枠は2.5m幅なので、たとえ隣り合っても、譲り合うことでSDを保持することは可能。
5. 公式掲示板	
5-1. 公式掲示板の免除等	密にならないよう、複数の掲示板を設置する。
6. 公式車検等	
6-1. オフィシャルと選手の身体的距離を確保	SDを維持し、車両検査を実施する。オフィシャルは必要に応じてフェイスシールドを装着する。
6-2. 再車両検査	同上。
7. 競技結果	
7-1. 仮想掲示板を介した結果管理・提供等	密にならないよう、複数の掲示板を設置する。

項目	対応
8. 閉会式・表彰式等	
8-1. 車両保管後直ちに実施	表彰式はクラス毎に行い、密を避ける。参加者はSDを維持しつつ参加する。
8-2. 選手と授与者の身体的接触を避ける	賞典はテーブル等に置き、入賞者が引き取る方式とする。
9. トイレ	
9-1. 便器の蓋を閉めて汚物を流す表示	表示を行う。
9-2. ペーパータオルの設置、または個人用タオル	ペーパーの設置を行う。受理書にて、参加者に個人用タオルの持参を依頼する。
10. 休憩スペース	
10-1. 人数・換気等	休憩スペースは、基本的に体調不良者のみの利用とし、適宜、換気を行う。
11. ゴミの廃棄	
11-1. ゴミはビニール袋に入れ密閉して縛る	受理書にて、参加者に周知を行う。

カテゴリー毎の対策

項目	対応
1. 慣熟歩行	クラス毎に行う、一定の人数による慣熟歩行の時間差スタートを行うなど、コース上が密にならないよう対策を実施するが、参加人数が確定しないと、タイムスケジュールが組めない。よって、受理書にて、方法・タイムスケジュールを通知する。
2. タイヤ交換・サービスの対策	パドックでは、参加者同士が密にならないよう、スペースを譲り合って作業を行うように、場内アナウンスを行う。
3. マーシャルポストの配置	屋外のため基本以外の対策は不要。無線機はポスト長など任意のオフィシャルのみが消毒して使用する。
4. ビデオ撮影	撮影者同士が密にならないよう、スペースを譲り合ってビデオを撮影するように、場内アナウンスを行う。
5. 参加費の返還	競技会期間中のクラスター感染発生リスクの高い状況の回避の1-1.の通り。